

(仮称)ランドマークタワー鉄骨工事

Steel Works of Land Mark Tower

川田工業(株)・生産事業部

1. まえがき

横浜・MM21地区で建設中の「ランドマークタワー」は、地上70階、高さ296m、鉄骨総重量約53 000 tの民間初の大規模プロジェクトである(写真-1 参照)。

2. 工事概要

工事名称：みなとみらい21・25街区

ランドマークタワー(仮称)新築工事

所在地：横浜市西区みなとみらい2丁目2番

施主：三菱地所(株)

設計・監理：三菱地所(株)

施工：みなとみらい21・25街区

ランドマークタワー(仮称)新築工事

建築工事共同企業体

工期：1990年3月～1993年4月

敷地面積：38 062 m²

建築面積：23 514 m²

延べ面積：392 283 m²

構造概要：地下3階～地上8階 SRC造

地上9階～70階 S造

3. 構造的特長

本建築物の構造の特長は、フィーレンディールフレームと呼ばれる33m～27mスパンのラーメンで、鉛直荷重を伝えていく構造である。コーナー部は、鉛直力が集中するので、最大板厚100mmの大きな断面の柱(Box柱、Pipe柱、BH柱)が配置されている。

材質もSM50に比べて約1.37倍の強度をもつSM58Q鋼材が使用されている。鉄骨総重量約53 000 tのうち、SM58Qは6 200 tである。当社の製作は約6 000 tで、そのうち最大使用板厚は80mmである。

一般階伏図を図-1に、軸組図を図-2に示す。

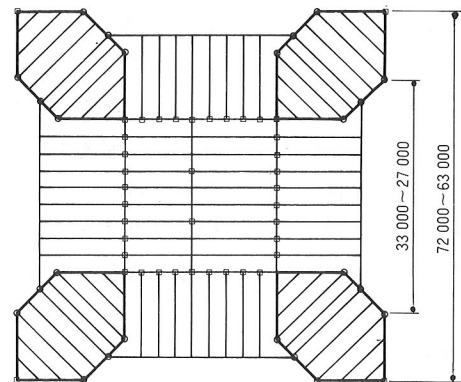


図-1 一般階伏図

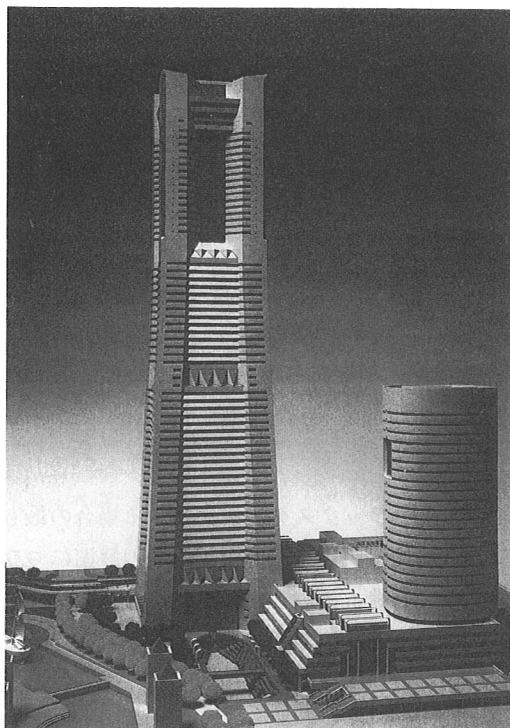


写真-1 完成予想写真

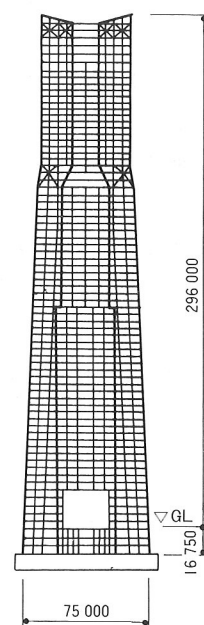


図-2 軸組図

(文責・高橋泰文)